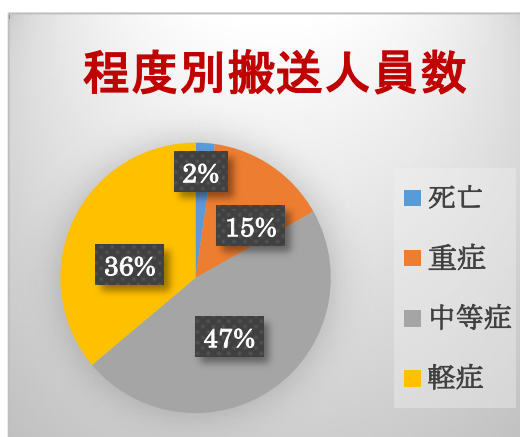


救急車適正利用のお願い

峡南消防本部管内の平成29年中の救急出場件数は、2,516件に上っており2,366人の傷病者を搬送しました。平成28年との比較は、平成29年は救急出場件数が、74件増、傷病者搬送は64名増となっております。

また、平成29年中は一日あたり6.89件の救急出場がありました。一見少ないように感じますが、峡南消防本部管内は面積が広く元々救急出場から帰署までの時間が他の消防本部に比べ時間を要していることに加え、管内医療機関の状況から管外搬送が増加していることもあり、1件あたりの救急出場時間が長くなり**救急車が消防署に待機できない状況が頻繁に起こっているのが現状です。**

近年、単なる酒酔いや切り傷、捻挫程度のけが等緊急性のない状況での救急車を要請されるケースが増えており、救急搬送した傷病者のうち入院の必要のない軽症者の割合が搬送人員数の1/3を占めております。峡南消防本部では、救急出場要請を受けると管内の2つの消防署、1つの分署、3つの分駐所に配置している救急隊のうち、要請先を管轄するそれぞれの消防署から出場します。しかし、出場要請が重なった場合には遠いところから駆け付けることになり、現場に到着するまで時間を要し、本当に緊急性のある傷病者への対応が遅れてしまい救える尊い命が救えなくなるおそれがあります。



※ 緊急性がなく自分で病院に行ける場合は自家用車やタクシーなど救急車以外の交通機関などを利用して受診して下さい。

町民の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

※ 傷病者の様子や事故状況をみて緊急を要すると判断したならば、迷わずに119番通報をしてください。

尊い命を救うため

救急車の適正利用をお願いします。



救急車の利用マニュアル

限りある救急車や救急医療を安心して利用していただくために総務省消防庁より救急車利用マニュアル及び全国版救急受診アプリQ助が作成されました。

①「救急車利用マニュアル」の中には

- ・ 重大な病気やけがの症状 (大人・こども)
 ※緊急度が高いことが予測され、すぐに救急車を呼んでほしい症状
- ・ 救急車を呼ぶ時の注意点
- ・ 救急車に来るまでに用意しておく便利なもの
- ・ 救急車が来たときに伝えること などが載っています。

②「全国版救急受診アプリ Q助」は

住民の緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供する為作成されました。

急な病気やけがをしたとき該当する症状を画面上で選択していくと緊急度に応じた必要な対応が表示されます。その後、医療機関検索（厚労省の医療情報ネット）や受診手段の検索を行うことが出来るようになっていきます。

※iOS8 以上の iPhone 端末
 Android4.4 以上のスマートフォン・タブレット端末
 ※通信料はご利用者の負担となります



総務省消防庁「Q助」案内サイト
https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html



総務省消防庁

③ 峡南消防本部ホームページ内にも救急時のワンポイントアドバイスが掲載されています。

- ※ 救急車要請時の参考にしてください。
- ※ 傷病者の様子や事故状況を見て緊急を要する場合には迷わず 119 番通報をしてください。

この情報に関するお問い合わせ先
 峡南消防本部警防課または通信指令課 代表 055-272-1919